



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：臨床研修室 畠山 京

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床研修室 畠山 京

【指導医】

聖路加国際病院 消化器一般外科 嶋田 元

当院にて全身麻酔による手術を受けられた方を対象とした

術後の嘔気・嘔吐に関する研究

1.研究の対象

2019年1月-2023年12月に当院で全身麻酔下の外科手術を受けられた方

2.研究の目的・方法

現在術後の嘔気・嘔吐は発症頻度の高い術後合併症の一つであり、その予防には術前の危険因子の数に応じた予防薬の投与を行っております。今回、適切なリスク評価と予防策について調査し、予防薬使用の適正化を図ることを目的としております。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年8月13日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 カルテ番号、年齢、性別、喫煙歴、飲酒歴、アレルギー、術式、麻酔時間、術後疼痛の強さ、血液 等